



地域支援だより

群馬県立前橋高等特別支援学校 支援推進部

No.2 令和7年8月発行

教材・ブックトーク！

特別支援教育センター的機能校である本校前高特校長推薦！

3冊の本の紹介です。どちらの本も1冊、学校で共有してみませんか。日々の実践に生かせ、また多様な学びを整備するためのヒントが得られる書籍です。ソーシャルスキルを磨く「スキリング・ワークシート」は通級指導等でも活用されているものでもあります。



「ソーシャルスキルを磨く スキリング・ワークシート」 廣田 稔 著 (ジアース教育新社)

ソーシャルスキル不足により対人関係トラブルが頻繁に生じてしまう生徒さんはいませんか。発達課題が見られる場合、発達年齢に見合った適切な言動が体験不足や特性により難しく、トラブルに発展してしまうケースが多く見られます。そのような生徒指導支援に実際に使えるのがこちらの1冊となります。スキリングとは、「特定の技術や能力を習得または向上させるプロセス」を指すそうです。一般的には職業訓練や教育プログラムを通じて新しい技能を学ぶことに関連しているとのこと。

ワークシート活用の手順は①総合スキルチェックに取り組む、②①のチェックの結果から課題をみつけ、③課題における必要なワークシートを実施、④ワークシート最後にあるまとめ振り返りをする、⑤実際の生活に応用するという5つのステップを踏む流れとなっています。何より素晴らしいことは、全ての課題項目にQRコードやURLが記載されており、ワークシートやパワーポイント資料までダウンロードすることができます。すぐに指導に使える優れものなのです！通級指導においても活用されている1冊でもあります。各学校に1冊購入はいかがですか？先生方の一助になること間違いなしです！

「個別最適を作る教室環境」

野中陽一・豊田充崇編著 (明治図書)



新しい時代の学びを実現する教室環境の在り方を考え、多様な学びの場作りの一助となる1冊です。タブレットが含まれる時代になり、常に机上が物でいっぱい！いつも何かを落としている、そんな生徒はいませんか。そのような生徒に机にはめ込むことで机の面積が広がる『天板拡張くん』の紹介もされています！これで物を落とさず授業に集中できる支援ができますね！

※『天板拡張くん』は、各学校に教材教具総合カタログを配付される内田洋行さんより購入することができます。

【天板拡張 & 落下防止対策】

1個あたり¥4,700

児童・生徒用デスク天板拡張器具

天板拡張くん(5個セット) ¥23,500

(税込¥25,850)

「教室マルトリートメント」

川上康則 著 (東洋館出版社)



マルトリートメントという言葉を知ったことはありますか。マルトリートメントとは、「不適切な養育」と訳され、子どもの心と身体の成長を妨げる行為全般を指します。1980年代からアメリカで広まった表現でもあります。本書では、家庭内のみならず教室内でもマルトリートメントは起きていることに触れています。福井大学子どもの心発達研究センター教授友田明美先生の検証も含め、不適切な養育と与える脳への影響、またどのような支援方法、言葉掛けが安心感を与える養育環境になるのか等も紹介しています。日頃の実践を振り返る機会になる1冊です。著者である川上先生は、実際に東京都立矢口特別支援学校で今現在も担任をされ様々な教育実践を繰り広げられています。

明日は、笑顔で教壇に立ちたい。

「体罰」や「過剰な養育」だけではなく、教室に蔓延する「不適切な養育」が、子どもの健康を害している――。現場を見つめる著者が語る、改善のための数々のヒントたち。
――著者 川上 康 則 東洋館出版社

特別支援教育お助け相談AIについて

特別支援教育の先生と子どもたちを助けるアシストAI「特別支援教育お助け相談AI」というものが開発されました。すぐにでも答えが欲しいことが先生方にもあると思われます。生成AIの回答はなかなか素晴らしく、実践の仕方が理解できる回答です。個の観察を通し、回答をヒントに、個に応じた支援を工夫していくとよいと思われます。開発者の方は、兵庫教育大学大学院先端課題実践開発コース黒田一之先生です。

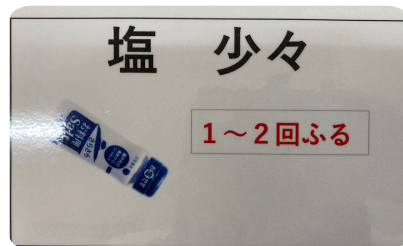
<https://sites.google.com/hyokyo-ai.com/assistai-prompt/top>



前高特からの教材教具の工夫の紹介

✔ 日本語って難しい！言葉の中に含まれる意味を具体化した視覚支援の紹介です！

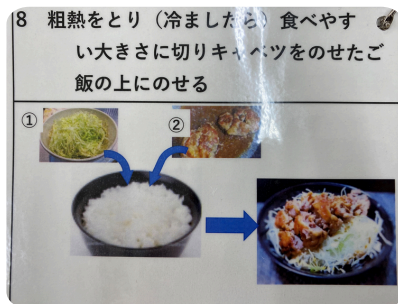
本校の家庭科の授業で豚こまステーキ丼を作りました！自立生活に向けて少しでも自分で料理ができるレパートリーを増やしていけるように、自分でも栄養を考えて調理ができるように調理実習を取り入れています。



「少々」調理の過程でよく使われる言葉です。その「少々」という言葉で混乱を招いてしまいます。「塩 少々」とは、「1～2回ふる」ことを詳細に理解ができるようにしています。



「こんな感じの厚さ」とは、どのくらいの厚さのこと？と悩んでしまう生徒に、厚さを具体化しています。どのくらいの厚さなのか明確になり、肉の塊を作りやすくなります。



『粗熱をとる？』、語彙力が少ない生徒にとっては、大きな疑問符が頭によぎる状況になります。『粗熱』という言葉の意味を（冷ましてから）と添えて、意味を繋げています。生徒にとっても、新しい言葉を学ぶ機会にもなります。言葉の広がり、子どもたちの生活力の広がりにも繋がっていきます。美味しい豚こまステーキ丼のできあがり！※右の写真では、道具の名前も覚えらる視覚支援教材となっています。



オンデマンド配信のお知らせ

12月31日（水）まで、思う存分学びを深められてください！

今年度も、過去に本校で実施された校内研修のオンデマンド配信をご用意しました。視聴方法は、各校へすでに配付済みです。各校特別支援教育コーディネーターにお問い合わせください。今年度は下記2点の動画を用意いたしました。12月31日(水)まで、繰り返し視聴可能です。先生方の専門性スキルアップに繋がる一助になれば幸甚です！

Q 「傷ついた心と向き合うということ」精神科医 菊地祐子 先生

リストカット等の自傷行為や希死念慮ある生徒への対応方法についてご講演をいただいたものです。

Q 「視点を変えて『できた』を増やす工夫」作業療法士 六本木温子 様

作業療法士の視点から、なぜ基礎感覚を育てることが必要なのか、姿勢保持ができることによりどのような力に繋がるのか、姿勢発達の大切さを含めた教育実践の工夫についてご講演いただきました。



特別支援教育の窓から ～ 前高特折々の子どもたちの様子より ～

本校では毎年12月になるとPTA進路講演会を開催しています。卒業後の進路実現に向けて、様々な情報が保護者にも届き、保護者もともに学び合える時間になるよう、PTA進路指導部が主体となり開催をしています。

PTA保護者を代表し、開催時にはPTA会長のご挨拶をいただきます。挨拶文の中で次のようなお話をされたPTA会長様がいまいました。学校から帰宅した我が子が自宅で母に語った言葉です。「私は環境美化のチーフなんだ。学校は小さな社会なんだよ。今はできないことがあるけど、できることを増やしていくんだ。だからがんばるんだ。」と、我が子が自宅で母に伝えたことを共有してくださいました。「そんな言葉が娘から出るなんて思わず嬉しさとともに我が子の成長を感じたこと、学校でキャリア教育をしていただいていることを実感しました。」というお話をご挨拶の中で共有してくださいました。この言葉にアドバイザーも心動かされ、後日そのクラスを担当される先生に話を聞きました。すると担当をされる先生から、日々、ことあるごとに『学校は小さな社会であること、みんなにはできないことがたくさんあるけど、今からできることを増やし、社会に出て困らないようにしていこう！』という言葉子どもたちに投げかけていたことが共有されました。その言葉を生徒は心に刻み、学校生活をしていることを改めて知ることができた一コマでした。根気よく指導を継続することにより、生徒の心に言葉は残り、生徒の生きる指針になることを改めて感じた一場面となりました。